

Panasonic NPO サポート ファンド【環境分野】

2012年助成団体

成果報告

ボランティア主導型運営システムの構築

特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン

2013年3月1日

応募当時の課題

組織活動が急速に拡大し活発化

⇒事務局の処理能力が現状のスタッフ3人体制では限界

これまで



当団体の組織基盤上の課題

事務局業務のノウハウを伝え、スタッフとボランティアが分業して動く体制やシステムが整備されていない

助成事業の概要

ボランティア主導型の運営システム構築

- 事務局スタッフが各々もつ運営ノウハウを汎用化したマニュアルの作成

対外広報活動のためのツールの作成

- ボランティアが広報活動ができるような展示ツールの作成・WEBリニューアル

ボランティア主導の運営体制ができなかった理由

本事業前の考え

- ①切り分けできる作業が明確でないから
- ②日常的な作業に対して協力意欲のある人材が不明だから
- ③作業を教える時間が必要なため、スタッフ自身で実施してしまうから

実は・・・

■事務局スタッフ自身がボランティアに依頼できる作業を過小評価



スタッフが行う全ての作業を文章化し、関わる人の能力に応じて作業を切り分ける

運営マニュアル

フローチャート

マニュアル

作業チェックシート

導入編

各マニュアルに共通な用語・記号・書類等保管
場所・データフォルダ名

国内プロジェクト
管理

全体工程・作業時期・各作業内容と準備する資料、
作業完了条件・チェック項目

ボランティア業
務

申込受付から参加までの各作業内容と留意事項

会員管理業務

会員の種別やデータベースの入力方法・留意事項

パブリシティ業
務

各広報の内容と発行や開催時期・盛り込む内容・
準備・当日作業など

経理・法人業
務・データ管理
他

支払いや振り込みなどの定期的な時期と作業内容、
各種の対応

広報ツール

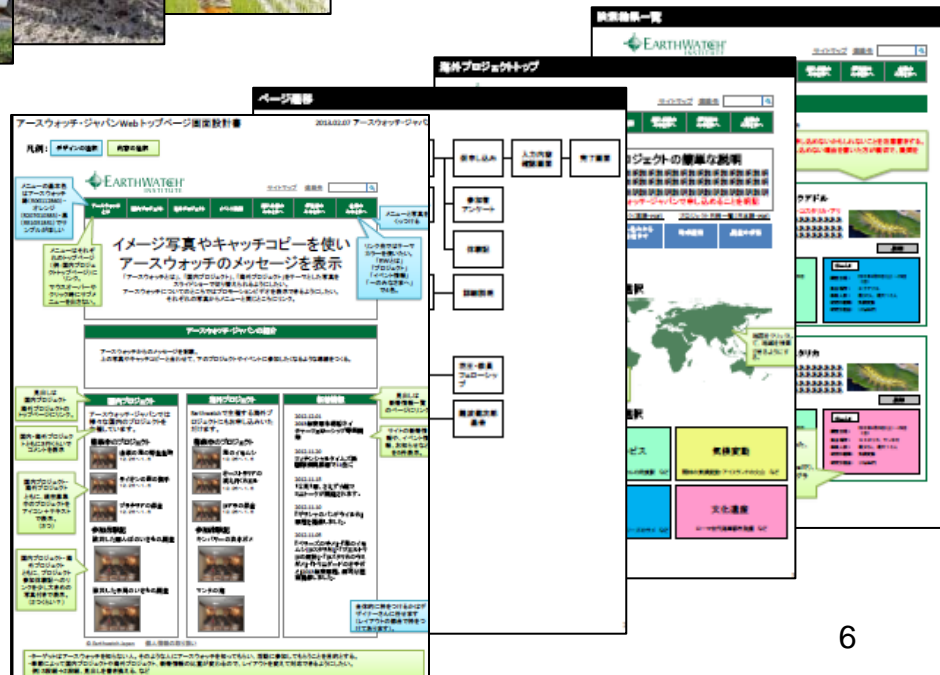
展示会

ボランティアが誰でもイベントなどで当団体の広報・周知活動を行えるアースウォッチの解説パネル・チラシ



web構築設計書の作成

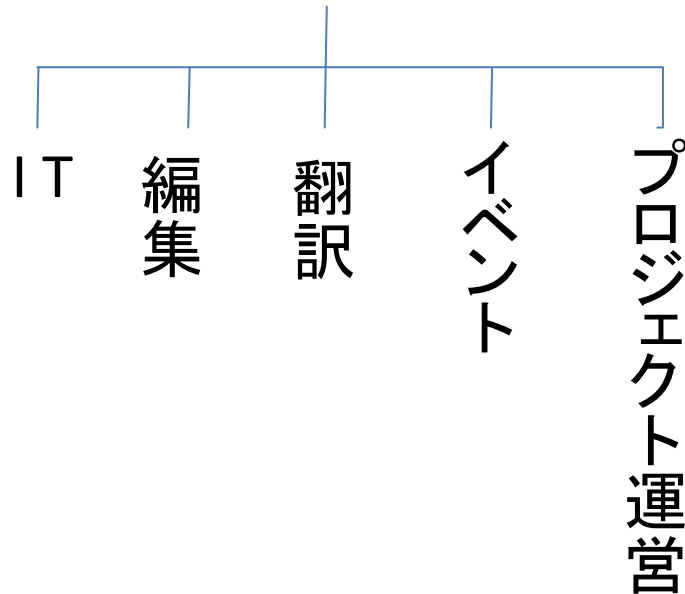
・本サイトのコンセプトや対象、サイトのツリー構造、各ページのワイヤーフレームと盛り込む機能を整理して作成



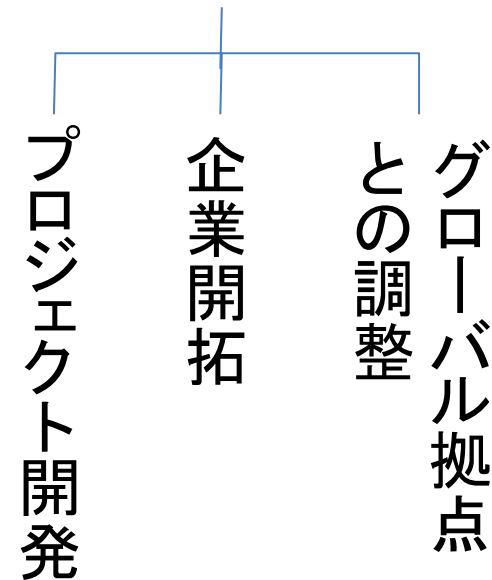
助成事業の成果

ボランティア主体型運営

ワーキングチーム



事務局



- 一緒に団体を動かしているという一体感醸成
- 当団体への帰属意識向上
- 常勤スタッフ・他ボランティアとの結束力強化

- 新しい活動やきめ細かいサービスへと展開

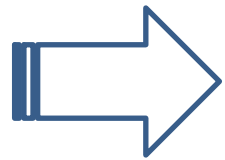
助成事業後の展望

今後は、運営ボランティアの募集・研修システムを充実化。プロジェクトやサービスなどの拡充に向けた対策を検討することで、現在の財政規模の中で活動を発展させる仕組みを構築

事業拡大に伴い、当団体のミッションに沿った最先端で高品質な学術調査プロジェクトを、日本全国・各種テーマで開催

自然環境に対して関心の薄い層や親子、野外フィールドに行けない方なども気軽に活動に参加できる機会を積極的に創出していきたい。

キャパシティビルディングのコツ



外部の人の目を入れる

✓ 外部の人が運営に携わる機会をつくることは、団体にとって自らを振り返る良い機会になる。

□ スタッフ間の常識に縛られて仕事をしていることが意外にあることに気付いた。

□ 普段当たり前前に実施している作業を人に伝える難しさを各スタッフが身をもって知ったことは、今後ボランティアに主体的に運営に関わってもらう際の重要な糧となった